

日程				講座名	内容・目的	講師
第1回	4月	10	日	認知症予防とコグニサイズ	教室の目的でもある認知症予防とコグニサイズを説明します。	のぞみの丘ホスピタル 理学療法室長 在宅サービス所長 中津 智広 先生
第2回		17	日	転倒予防について	転倒すると認知症になる！？歩き方と認知症の関連性！？転倒しない意識をより強くしましょう。	のぞみの丘ホスピタル 理学療法士 須田 貴大 先生
第3回		24	日	血圧に気を付けよう	血圧と認知症の関連性を学んでおきましょう。健康のバロメーターである血圧に目を向ける時間です。	ディケアみやび係長 看護師 小林 友美 先生
第4回	5月	1	日	認知症について学ぼう	認知症のことも知りましょう。不安ばかりでなく安心もしてください。	のぞみの丘ホスピタル 認知症予防専門医 森藤 豊 先生
第5回		8	日	認知症を予防する生活習慣	認知症に良いとされる生活習慣。いくつできているか？今から意識しても遅くないですよ。	ディケアみやび係長 看護師 小林 友美 先生
第6回		15	日	嚥下体操とお口の大切さ	いつまでも楽しく食事を…嚥下、咀嚼に必要な運動や姿勢の大切さを伝えます。	ディケアみやび係長 看護師 小林 友美 先生
第7回		22	日	認知症と糖尿病の関係性	認知症と糖尿病との関連性は？ロコモティブシンドロームってなに？	のぞみの丘ホスピタル 理学療法室長 在宅サービス所長 中津 智広 先生
第8回	6月	29	日	MCIとは？気づきの大切さ	認知症になりやすいMCI。医師の先生から気づきと踏み出す勇気をもらいましょう。	のぞみの丘ホスピタル 認知症予防専門医 森藤 豊 先生
第9回		5	日	暮らしの備えを考えよう	今後の人生、自分らしく暮らすために備えは必要です。備えのヒントをお伝えします。	サントピアみのかも 作業療法士
第10回		12	日	認知症予防に嗅覚が注目されている！？	認知症を予防するために、こんなポイントもあるんです！！感覚を刺激しましょう。	のぞみの丘ホスピタル 理学療法室長 在宅サービス所長 中津 智広 先生
第11回		19	日	MCIに気付くには？～日常から見る認知機能～	認知機能って何でしょう。日常生活の中で使っていることを学んでみましょう。	のぞみの丘ホスピタル 臨床心理士
第12回	7月	26	日	血液データを学びましょう	血液検査でわかること。そこから気を付けること。専門職から聞いてみませんか？	のぞみの丘ホスピタル 臨床検査技師 河村 幸代 先生
第13回		3	日	薬について学びましょう	薬剤師の方から『くすり』に関して気を付けていくべきことを聞いてください。	のぞみの丘ホスピタル 薬剤師
第14回		10	日	認知症の方との関わり方～認知症看護視点から～	認知症の方を治療する病棟って？地域の方により理解を深めるために。是非、リアルな話を聞いてみましょう。	のぞみの丘ホスピタル 認知症治療病棟 看護師長 渡邊 博文 先生
第15回		17	日	脳について学びましょう	医師や理学療法士の講話にたくさん脳って言うてましたね…専門画像を使用して更に詳しく解説します。	のぞみの丘ホスピタル 放射線技師 新井 雅之 先生
第16回		24	日	老いることへの不安を解消！	老いに伴う様々な変化に、上手く対応していく方法をご紹介します。(身体機能維持・認知症防止や付合ひ方)	老健サントピアみのかも 看護・介護職 統括所長 丸山 千穂子 先生
第17回	8月	31	日	皆さんで地域に元気を	可児市で行う事業の紹介、ご案内、参加方法など。皆様に「安心」を。	可児市高齢福祉課
第18回		7	日	認知症予防のまとめ	教室の成果の報告と認知症予防の最前線をお話します。	のぞみの丘ホスピタル 理学療法室長 在宅サービス所長 中津 智広 先生

教室の始め(2回目・3回目)と終盤(16回目・17回目)に、簡単な計測をおこないます。

計測項目 (評価項目)

- 握力 ⇒ 左右共に測定 基本、立位姿勢で実施 全体的な筋力の指標
- TUG ⇒ 1回のみ測定 説明を聞いてから実施 複数課題処理ならびにバランスの指標
- 反応速度 ⇒ 清仁会独自 説明を聞いてから実施 視空間認知ならびに処理速度の指標
- 不安度評価 ⇒ 不安度評価に用いる指標 現在の生活に対する不安度を主観的に点数化
※ HADS=Hospital Anxiety and Depression Scale(うつ・不安の尺度)
- 5m歩行速度(通常)
- 5m歩行速度(最大)

1～6の計測項目は、認知症予防専門士によってデータ処理、さらに各個人、依頼先にフィードバックを行う。
5ならびに6計測項目は、今年度より実施する。